

# ちくたく

## 変わっていくもの、変わらないもの

清輝小学校 校長

余公俊晴



岡輝中学校区に再び勤めさせていただくことになり、こんなにうれしく、名誉なことはありません。平成9年から15年までの7年間を清輝小学校でお世話になり、平成16年から24年までの9年間を岡南小学校でお世話になりました。岡輝中学校が平成10年に岡山東警察署（現中央警察署）のパイロット指定を受けることから始まった中学校区の取組の歴史をリアルタイムで体験させていただきました。中学校の先生方や、幼稚園・保育園の先生方との研修は、昼の部・夜の部ともとても有意義で楽しいものでした。そして、保護者、地域の方々が、本当に温かく力強く助けてくださいました。もしもその支えがなければ、あっという間に倒れて起き上がれなかったでしょう。その時の人のつながりのありがたさは、岡輝中学校区に勤めていたからこそ感じる事ができたものです。岡輝学区を出た後も当時の絆と人脈のお陰で幾度となくピンチを救われました。今の自分があるのは岡輝学区での16年間のお陰です。

その間には「清輝学習法」を見直して「新岡輝学習法・子育て法」がつくられ、「0歳から15歳まで」一貫した方針で、保護者・地域の方・学校園の教職員が一体となり、関係機関とも密に連携しながら「輝く子どもたち」を育てていくという形ができてきました。岡山市が掲げた「岡山型一貫教育」のもととなったのではないのでしょうか。そして、「授業で学校を変える」を合言葉に始まった「協同的な学び」は、教室の中だけでなく、教員の意識をはじめ、まさに学校を変えたと思います。その変革の中心には岡山市の指定第1号となった「岡輝中学校区地域協働学校」があります。

「岡輝中学校区の取り組み」第3期にあたる今年、年号が変わり、新学習指導要領が実施され、「働き方改革」や「ICT、ネット社会への加速」「格差社会による貧困の一般化」と、世の中が目まぐるしく移り変わり、そこへ追い打ちをかけるように新型コロナウイルスの感染拡大による「新しい生活様式」への対応を余儀なくされています。

変化、改革は「前へ」進むために必ず必要です。しかし、変えてはいけないものも存在します。「一人になるな。一人にするな。」「思いはいつか必ず通じる。」「教育があきらめたら終わり。」「子どもを人として丸ごと大切に。」と「とにかくかわる。」という、年代によって表現は変われども、岡輝学区が大切にしてきた子ども達の成長に向けられる「熱さ」は今も昔も変わらないはずだ。

清輝小学校は、令和4年に150周年の節目を迎えます。岡輝の森の一本の木である清輝小学校の枝葉として、大好きな森がますます豊かになるよう、恩返し思いも込めて、がんばりますので、どうぞご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。



## 「岡輝中学校区地域協働学校(コミュニティ・スクール)への期待」(仮)

(仮)

森谷正孝

### はじめに

岡輝中学校区の岡輝中、清輝小、岡南小は平成14年から平成16年の3年間文部科学省より「新しいタイプの学校運営の在り方に関する実践研究」の指定を受けました。この実践研究は、地域協働学校(コミュニティ・スクール)設置のための法律を作るためのもので、全国7地区9校が指定されました。平成16年に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律47条5」が成立し、平成17年に岡輝中学校区は県下第1号の地域協働学校(コミュニティ・スクール)になりました。

### 特色的な取り組み(学校運営協議会)

- ①法律では単独校園の設置に関する法律ですが、岡輝中学校区は0歳から15歳までのタテ連携を重視し岡輝中学校区の学校運営協議会として運営しています。
- ②協議会は地域・保護者の代表、有識者、平成29年の社会教育法の改正による地域学校協働活動推進員、当初より地域に対して公募によって選出された委員によって運営されています。
- ③協議会は8月を除き、11回開催しています。そのうちの2回は拡大協議会として、岡山南高校を含め私立の幼稚園・保育園が出席し、情報交換をしています。

### これまでの取り組み

平成10年から平成11年の2年間の岡山東部パイロット指定、平成11年から平成13年の3年間の岡山県指定「いきいきスクール支援事業」を通して岡輝地区青少年保護協議会(岡輝地区青少年育成協議会)を活動母体として多くのイベントを行い地域のネットワークを築いてきました。さらに、学校運営協議会と地域の連携・協働により「NPO法人子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクール」を学区の岡輝中、清輝小、岡南小に開設し、18年目を迎えています。学校園では、保・幼・小・中のつながりも進み毎年の夏季研修も定着してきました。連携の証としての「岡輝版子育て法」さらに平成19年から実践に入った協同学習により連携から一貫を実感できるようになりました。

現在でも「みどりの林檎」、「つながれ岡輝」、地域と協同学習でつながる「イメージアップ岡輝」などは他学区にはない中学校区の素晴らしい取り組みとして継続されています。

### 地域協働学校(コミュニティ・スクール)のこれから

地域協働学校1号指定から16年目を迎えています。作る時のどこにも負けないエネルギー、さらに「新しい公共型の学校」「地域とともにある学校」など全国的な動きの中で、時代の変化に対応し、中学校区に根ざした取り組みを継続してきたと思っています。そして今、「子どもたちの未来創造に向けて、社会総がかりの教育の実現」が求められる中、再スタートの時を感じています。ここで、新しい何かを作ろうとするのではなく再検討をしてみてもどうかと思います。例えば「子ども像」を共有し、現在の取り組みがどんな力を身につけようとしたものなのか。教科や総合的な学習の時間、特別活動の時間に地域や地域外の人にどのような力を借りているかなどを再点検し、「社会に開かれた教育課程」づくりを進めていくことが求められています。未来に生きる子どもに必要な「生きる力」を育てるためには学校枠を超える発想や、協同学習の理念の一つ「最高の学び」をめざす「教育課程」を先生方の力で作ることにより学校と地域がより繋がっていくと思います。そのためには、「学校運営協議会」は学校応援団としてPDCA機能も意識しながら、レベルアップしていくことが求められていると思います。

### 2020年度の岡輝中学校区学校運営協議会委員

- |   |  |
|---|--|
| 1 高柳 光成(会長・地域部) 元芳田小学校長                     |  |
| 2 熊谷慎之輔(スーパーバイザー) 岡山大学教育学部教授                |  |
| 3 森谷 正孝(NPO代表) 元岡輝中学校長                      |  |
| 4 藤井 敏明(地域部) 岡南学区連合町内会長<br>元岡南小PTA会長        |  |
| 5 中原 一郎(地域部) 清輝学区連合町内会会長<br>元清輝幼・小・岡輝中PTA会長 |  |
| 6 宮井 宏(地域部) 元岡南小学校長                         |  |
| 7 藤田 裕子(地域部) 清輝学区主任児童委員                     |  |
| 8 増川 英一(地域部) 県議会議員<br>元岡輝中学校PTA会長           |  |
| 9 遠藤 隆宏(副会長・地域部) 元岡輝中学校PTA会長                |  |
| 10 岩上 房江(地域部) 元清輝小PTA副会長                    |  |
| 11 酒井 淑(地域部) 元岡南小学校PTA副会長                   |  |
| 12 高田 充巳(地域部) 元岡南小学校PTA会長                   |  |
| 13 田中のぞみ(地域部) 市議会議員・愛育委員                    |  |
| 14 三村 康彦(地域部) 元岡南小学校PTA会長                   |  |
| 15 鈴木 祥成(地域部) 岡輝みんな食堂副代表                    |  |
| 16 小林 洋(地域部) 岡輝公民館長                         |  |
| 17 難波 祝子(地域部) 清輝児童センター館長                    |  |
| 18 安原 智史(副会長・PTA部) 岡輝中学校PTA会長               |  |
| 19 副島 梢(PTA部) 岡南小学校PTA会長                    |  |
| 20 芥田 健作(PTA部) 清輝小学校PTA会長                   |  |
| 21 門田 正充(副会長・学校園部) 岡輝中学校長                   |  |
| 22 余公 俊晴(学校園部) 清輝小学校長                       |  |
| 23 森 淳(学校園部) 岡南小学校長                         |  |
| 24 深井 弘子(学校園部) 岡南認定こども園長                    |  |
| 25 兼光香代子(学校園部) 清輝保育園長                       |  |
| 26 月本久美子(行政部) 岡山市岡山子育て局<br>保育幼児教育部幼保課課長副専門監 |  |
| 27 小林 朋史(行政部) 岡山市教育委員会事務局<br>学校教育部指導課指導副主査  |  |
| 28 小野寺達明(事務局) 岡輝中学校教頭                       |  |

## 学運協に支えられた清輝小学校の取組

前 清輝小学校 校長 (現 吉備小学校 校長) 高山 学



清輝小学校へ赴任当時、学運協と事前の役員会がそれぞれ年間11回ずつあるのを聞いて、あまりに回数が多いのに正直驚きました。最初は毎回何を議題にしていくのだろうかとか、委員の皆さんが毎回足を運ぶだけでもたいへんなのではないだろうかとか感じる一方で、多数の委員さんが顔を会わず機会が度々あると、自ずと話す機会も増えて互いの立場を理解するようになるなど関係性も深まっていくのではな

いかと期待もしました。

実際に学運協の回を重ねるごとに、この会がベースにあるからこそ、何か困ったときには相談できたり、大きな取組を行うときなどにはバックアップしていただいたりしていることを実感していくようになりました。お陰で清輝小学校での在任3年間は岡輝中学校区の地域や学校園の方とのつながりを常に感じながら安心して教育活動を行うことができました。

ところで赴任した当時の清輝小学校では、以前に比べ問題行動が減り学校自体は落ち着いてきていましたが、現状維持でよいという考えで、学校としての課題は、教職員も十分把握できていたとは言えませんでした。しかし、学運協や5校園長会で繰り返し各学校園の実態や取組状況を聞いたり、岡輝版子育て法に目を通したりする中で、学力と不登校(遅刻)とい

う表裏の関係にある学校としての課題が浮かび上がりました。これは何とも重い課題でしたが、校長として、改善していくために基礎学力づくりと授業力向上に取り組みたいと強く考えるようになりました。

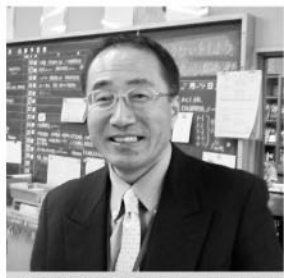
そこで、まず基礎学力づくりとして、基礎計算の各学年の計算指標を定め、毎朝ぐんぐんタイムに全校で足並み揃えて取り組み、一人一人のタイムと得点を記録し評価していきました。この粘り強い取組の結果、基礎計算力が伸びることで、読みや漢字などの基礎学力づくりにも弾みがついてきました。次に昨年11月の岡山県小学校理科教育研究大会の開催に向けての2年間、市内の各校に授業協力をいただきながら研究授業を重ねることで、教師の授業力向上に向けて取り組むことができました。この2つの学力向上への重点的な取組によって、結果的に遅刻や不登校も少しずつ減少に向かい始めました。

また、学運協の「0歳～15歳までの責任のある保育・教育」というキャッチフレーズのもと、つながりの強い5校園や児童センター等と常々連携を取らせていただいたことが一人一人の子どもへの学びや成長をよりよい方向につなげていくときの大きな助けとなりました。

これらの取組も学運協で学校の実態や取組を伝えて理解していただいた上でバックアップ体制があるからこそ前進することができたと改めて強く感じています。最後に岡輝中学校区の長年の学運協の活動と組織力に心より感謝申し上げますとともに今後の益々の発展を心より願っております。3年間ありがとうございました。

## 久々の学校運営協議会

元岡南小学校 校長 (現 学校運営協議会委員) 宮井 宏



2009年当時：職員室でのスナップ写真 (2009年2月24日)

この6月、岡輝中学校区の学校運営協議会に参加するために、11年ぶりに中学校区に行くこと、校舎がとてもきれいになっていたことに驚きました。玄関や職員室は当時のままでしたが、南館や北館は廊下が広くホテルの中を歩いているような気分になりました。そして、教室を見ると、明るくきれいに整頓されており、勉強をするのに適した環境だと思いつつ会議室に向かいました。会議室に近づくにつれ、

「十年以上も経っているのに、協議会のメンバーも知らない人が多いだろうなあ」と少し不安な気持ちでしたが、部屋に入るとメンバーの半数近くは、当時お世話になった方々でしたので、昔のことが蘇り懐かしくそしてホッとした気持ちになりました。

会議が始まると、各々学校園の様子や各部の報告があり積極的な意見が交わされました。この十年間で学校運営協議会も深化と進化をとげていました。

子どもたちは、地域の人の温かい目に見守られながら成長しているのだと感じました。

さて、このコロナ禍の中で、ステイホームやソーシャルディスタンスなどが叫ばれ、人と人とのコミュニケーションがとりづらくなっています。また、感染症への不安からか、デマや誹謗中傷などが多く見られ、社会も家庭も疲弊してきているような感じがします。子どもたちの中には、社会の変化に対応できず、心を病んだり孤立したりする子どももいると思います。そんな中、森谷校長先生が岡輝中学校に勤務されていた時に、生徒たちによく言われていた「みんな助け合って生きている」「一人にするな。一人になるな」という言葉を思い出しました。人と人との関わりが希薄なときだからこそ、お互い助け合って行かなければならないと思います。地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行く、学校運営協議会の果たす役割は大きいものがあると感じています。

地域と学校が協力し、子どもたちの豊かな成長を支援していきましょう。

## 礼儀正しい実力派 岡山南高等学校 校長 桑元秀明



岡輝学区の皆様には、平素から色々とお迷惑をお掛けしているにもかかわらず、多大なる御支援をいただいておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。今年度は3学年で合計22名の岡輝中学校卒業生が岡山南高校で活躍してくれています。今後も多くの中学生が岡山南高校へ進学し、充実した高校生活を送ってもらえたらと思います。さる7月14日には拡大協議会にお招きいただき、ありがとうございました。普段なかなか会えないような方々と情報

交換ができました。いわゆる「保幼小中高」の教育関係者と地元の方々がこのように一堂に会することは私としても初めてでありました。岡輝学区の方々の子供たちへの愛情と教育に対する熱い情熱を感じられ、有意義な時間が過ぎましたことを感謝いたします。

さて標題の「礼儀正しい実力派」とは岡山南高校の「育てたい人間像」であります。私もこの4月に赴任してきましたが、校内廊下ですれ違う生徒はまず間違いなく挨拶してくれます。「おはようございます」「こんにちわ」「失礼します」挨拶されて嫌な人はいません。『礼儀正しい実力派』の『礼儀正しい』の部分はこういうところだと思います。『実力派』の部分は教科の専門知識。本校は商業学科と家庭学科の高校ですので、商業(ビジネス)や家庭科の知識・技能をもった人材育成をしています。しかし岡山南高の思う『実力派』とは知識・技能だけではなく「人間力」を兼ね備えた人材です。辛抱強く努力を続けたり、新しいことにチャレンジしたり、そういうことを部活動や生徒会活動等を通じて身に付ける教育をしています。放課後、校内を歩いてまわると吹奏楽の練習する音や金属

バットの音、体育館からはバスケットボールのドリブルの音など多くの音が聞こえます。そして一生懸命な生徒たちの姿を見ると、最近年をとったせいか、もうそれだけで感動してしまいます。

今年度は新型コロナウイルス感染症との戦いで始まり、その戦いはいつ終わるかわかりません。そんな中で教育にも新しい波が押し寄せています。臨時休業の中、いくつかのクラスでは朝、リモートでホームルームも行いました。いつもの始業時間に自宅のスマートフォン等で担任のコンピュータとつながり朝のあいさつから連絡事項までしました。着なくても良いのですが制服を着た生徒もいてほほえんでしまいました。たしかに何を着たらよいのか迷いますよね。

岡山南高校では休業中から現在も県推奨のGoogle Classroomというアプリケーションを使って朝の健康観察を行っています。朝、生徒は自分のスマートフォンに朝の体温と体調について入力すると、担任が学校で把握します。休業中にはリモート授業をする先生も出てきましたが、もし第2波が来て再び臨時休業となれば全員の教員が何らかのリモート授業をするようになります。先生方も一生懸命研修を受けています。

県総体もなくなり、インターハイもなくなり、夏の甲子園予選も開催されません。様々なことができないことになりました。本校でも文化祭や体育祭を制約のあるなかで、どうやって開催するか、生徒会を中心に考えてくれています。できる範囲で楽しく過ごす。この考え方はとても大事だと思います。できないことをできるように工夫をすることを習慣にできれば、この期間も有効だったと振り返ることができるのではないのでしょうか。生徒たちがどのような知恵を絞ってくるか、楽しみです。

今後も明るく住みよい岡輝学区でありつづけるよう、岡山南高校もこれからも協力していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



## 岡輝みんな食堂 「ごはん」で絆を深めよう

新型コロナウイルスの感染拡大により、2月以降、開催を見合わせていた「岡輝みんな食堂」ですが、このような時期でも、私たちが何か出来る事はないかと考え、8月1日より、岡山ロータリークラブや、岡山市社会福祉協議会、株式会社三好野本店、岡山市立岡輝公民館のご協力の下、お弁当の配布を始めました。

岡輝学区のつながりの輪（わか）が広がっていくように「わか弁当」と名付けました。毎回、多数の申し込みをいただいております、お弁当も美味しいと好評です。

わか弁当の配布は、新型コロナウイルスの感染が落ち着き、本来のみんな食堂の活動が再開できるまでは、今後もできる限り継続して行っていきたくと思っています。

また、みんな食堂についても屋内での開催は難しいため、屋外で開催することとし、8月9日（日）に旭町の佐藤医院デイケアセンター駐車場で久しぶりに開催しました。このような状況にも関わらず、子どもからお年寄りまで約60名の沢山の地域の皆さんに参加していただきました。

メニューはBBQランチプレート。最近では外出機会が少なく、イベントも軒並み中止となっているため、久しぶりのイベントに参加されたご家庭や高齢者の方たちは、それぞれの時間を楽しみながら交流を深めておられました。子どもたちも美味しいお肉とおにぎりをお腹いっぱい食べて大満足だったようです。

今回、岡輝みんな食堂は、開催30回目を迎える事が出来ました。これも地域の皆さんをはじめ、各小学校、中学校の皆さんのご協力なくしては続ける事が出来なかったと思います。いつも本当にありがとうございます。

私たちみんな食堂のスタッフも気持ちを新たに、これからも岡輝学区のささやかな居場所として、ゆるやかに続けていきたいと思っております。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。  
子どもも大人もお年寄りも、みんなで一緒にごはんを食べよう！

岡輝みんな食堂 代表 圓山典洋



株式会社三好野本店 若林社長もいっしょに参加して下さいました



屋外でバーベキューを開催しました!



旭町・佐藤医院デイケアセンター駐車場

おいし〜い!  
こだわりの手作り弁当



## 絵画コーナー



清輝保育園／吳 鈺沢 (5歳)  
いろいろなクレヨンで色を重ね、その上を黒のクレヨンで塗り、スクラッチして花火を描きました。



岡南こども園



富田保育園／よしだはな

## キラキラ輝く、がんばる姿

岡南小

写真は、玄関前のろう下を掃除している6年生の姿です。両ひざと両手を床につけ、コの字に黙々と磨いています。

給食委員会の5・6年生の子どもたちは、給食返却の際、大人顔負けの手際よさで、食器や食缶をてきぱきと片付けています。



ボランティア委員会の子どもたちは、毎朝、くつ箱の清掃をしながら登校してくる友達と元気よくあいさつを交わしています。くつ箱の中を見ると、どのクラスもかかたがぴたりと揃っています。先日、1年生が教室前のろう下であいさつ運動をしている姿を見かけました。きっとお兄さんやお姉さんの姿を見て、自分もしてみたくったのでしょう。

昨年度末より、臨時休業が続き、行事のほとんどが中止や延期になってしまいました。しかし、日々の暮らしの中には、しっかりと岡南小の伝統が引き継がれています。2学期には、延期となった行事を再開していく予定です。例年と同じようにはできませんが、きっと子どもたちなりに今できることに精一杯取り組み、輝く姿を見せてくれることでしょう。

## 『授業へのこだわり』を全うされた教育者



元岡輝中学校 校長  
森谷正孝氏

令和2年春、天皇陛下より、瑞宝双光章を授与されました。森谷先生は高知大学卒業後、昭和47年に教職に就かれ、哲多町立哲南中学校、福田中学校、竜操中学校、岡北中学校、平成10年4月より岡輝中学校に教頭として赴任、清輝小学校校長に1年、岡輝中学校校長に6年、定年退職まで12年間岡輝中学校区でお世話になりました。現在も岡輝中学校区では、学校運営協議会委員、シニアスクール副理事、他に、文部科学省コミュニティ・スクール推進委員、岡山市青少年育成協議会副会長、岡山市地域協働学校推進協議会会長、岡山県青少年育成県民会議副

会長と、岡山にとどまらず、全国でご活躍されておられます。

### 高知大学時代

高知大学は、見上げると空の面積が小さく圧迫された地から、太平洋そして地平線が見える憧れの地への進学でした。ラグビー部に入り友達の輪を広げ、白黒はっきりしていた自分の考え方に幅を持たせることができました。教育学部の特設体育課程では、体育社会学を専攻でしたが、生理学、運動学、心理学等への学習意欲がもてず、理解できない内容が多々あり、卒論は単語の乱用に終わったように思っていたそうです。

### 教員時代

教員時代を振り返れば、福田中学校は、授業研究の9年間、竜操中学校は、学年12クラス・県下の大規模校で、数に圧倒され、子どもにもまれ、先生にもまれ、やっと教員になったと感じられたそうです。「人権教育を基本にした生徒指導の推進」「学力保障・進路保障」への取り組み、苦しい時のことも思い出され、そうした中、後輩教員から「この学年は先生が体育の授業をきちんとやってくれているので荒れません」と言われたこの言葉は、授業にこだわってきた森谷先生にとって最高の褒め言葉だったそうです。岡北中学校では2学年、3学年、1学年の学年主任として過ごし、課題の多い1学年を残して、平成10年、岡輝中学校に新教頭として赴任されました。



今までの教員生活の中で、「これほど自信のない心細いなかでの着任は初めてでした」と振り返られます。教頭の仕事はまず職員室を守ることでした。子どもとの人間関係もままならない中、職員室を離れられるこ

とができたのは、平日午後開催のPTA役員会でした。「気持ちを支えてくれたPTAの皆さんへの感謝の気持ちは今も忘れていません」とのお言葉に森谷先生の並々ならぬ苦勞をうかがい知ることができます。

### 地域協働学校の目指す先へ…

平成10年は、青少年健全育成のパイロット指定を受け、地域選出の地域部長との活動の展開は、学校と地域とのつながりを感じたそうです。道筋をつけていただいた、川上洋一校長先生の存在は大きかったそうです。

平成14年からの文部科学省指定の実践研究の中、地域部を中心とした1年以上の議論の後、「NPO法人子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクール」を立ち上げました。小・中学校でシニアの方々学び、子どもたちとの関わりを日常的に持てる日々、子どもたちとの差が50歳離れたシニアの生徒と一緒に給食を食べる姿を誰が想像したでしょう。

平成17年、「学びの共同体」の協同学習への挑戦が始まり、地域協働学校（コミュニティ・スクール）の支えの中、「学力保障・進路保障」と「不登校生徒数の減少」への挑戦であり、「荒れない学校作り」への挑戦でもありました。「『できない子どもの排除、できる子どもの退屈を克服する授業』『すべての子どもの学びを保障する授業』『すべての子どもに居場所のある授業』の実践を先生方とともに取り組んできたことが、今でも実感できることに感謝と喜びを感じました」と、語られています。廊下から教室を見ると、教室の中で子どもたちは顔を突き合わせ学びあいによって進んでいく授業、全員が参加しての授業風景、これが本来子どもたちの姿……いきいきして楽しそうに見えます。

森谷先生に岡輝中学校区の印象をお伺いすると、「すべてを受け入れる優しい地域」というお答えをいただきました。新しいこと古いこと、子どもたちから高齢の方、楽しいこと苦しいこと、すべてを受け入れる……そういう優しさ、優しい方々があふれている、心地よい居場所があり、地域のかかわりの深いのが、岡輝中学校区だということでしょうか。良くご理解いただき、お褒めいただいたのでしょうか。地域との信頼の礎をお築き下さった、森谷先生の功績だと思います。

「授業にこだわり、授業で締めくくった38年間の教員生活だった」と、おっしゃる森谷先生です。

「今も時々うまくいかない授業の夢を見る」と言われるほどの、根っからの教育者である森谷先生。もう教員はしたくないと思った時期もあるそうですが、これからも岡輝学区のよき支援者として応援していただきたく思います。

受章おめでとうございます。良いお話をありがとうございました。ますますのご健康とご活躍をお祈りいたします。

取材・写真：ちくたく編集委員 高田充巳

「指導と研修 第61号」(2020年) 岡山市小学校校長会 会長 岡山市中学校校長会 会長 奇しくも見開きで寄稿された (岡山市教育委員会)

## 友だちと、地域の人と、先生と「いっしょに!」公立学校園・2020年度前期の取り組み

### 岡輝中学校 みんなが燃えた 体育会・文化発表会



先日、中学校では体育会と文化発表会を開催しました。本年度はコロナ禍の影響のため従来の時程・内容での実施を変更し、様々な感染予防対策を踏まえての開催となりました。体育会は種目を厳選し、演技時間の短縮を図り、ソーシャルディスタンスを十分確保するため生徒応援席用のテント数を倍に増やすなどしました。文化発表会は中庭ピロティを舞台とし、屋外での活動とすることにより、密をできる限り避けて実施しました。こうした様々な制約がある中での開催となりましたが、生徒たちは決してマイナス思考に陥ることなく、それぞれの役割をしっかりと果たしながら、思う存分を楽しみました。

当日は俄雨に降られ、あいにくの天候ではありましたが、特に文化発表会では3年生が中心となり、笑いあり、涙ありの素晴らしい演劇を見せてくれたり、吹奏楽部が感動的なパフォーマンスを披露してくれたりするなど、岡輝中学校全体が熱く燃えた一日となりました。

保護者の皆様、地域の方々もコロナ対策に協力いただきながら多数のご参観をいただき、子どもたちの大きな励みになったことと思います。大変ありがとうございました。



### 清輝小学校 みんなが楽しい学校生活を目指して「結笑まつり」開催



世界中の人々がコロナ禍の影響で、誰も体験したことのない日々を過ごしています。清輝小学校でも、令和2年度は昨年度末から引き続き、コロナ対策に四苦八苦する中でスタートしました。予定されていた行事も軒並み中止や延期、縮小で、せっかく子どもたちが楽しみにしたり、がんばろうと決意していたりしたものを思うように教育活動に生かすことができなかつたことが残念です。

しかしながら、そんな不自由な生活の中でも、子どもたちは、晴れた日には暑さに負けず外で元気に遊び、雨の日は工夫を凝らして楽しいことを考え、毎日の学校生活をより良いものにしようとするすばらしい姿を見せてくれました。

一例を紹介すると、5・6年生の企画運営委員会の子どもたちが、今年度の児童会テーマ「結笑」にちなんで「清輝小のみんなを笑顔にしよう。」とお祭りを計画してくれました。

1年生から6年生まで曜日を決めて、できるだけ密にならないようレイアウトを考え、換気にも気をつけながら開催しました。各学年の笑顔があふれる一週間でした。





## 『磨磚成鏡』の志をもって …中国禅僧 南嶽懷讓禪師の教えを生きる…



岡輝中学校区学校運営協議会 会長  
高柳光成氏

令和2年春の叙勲。岡輝中学校区学校運営協議会の会長でもある、高柳光成（清輝学区在住）さんが瑞宝双光章を受章されました。岡輝中学校でお話を伺いました。

高柳さんは、財田小・芳田小・岡山市教委・県教委・後楽館中学校（第三代校長）・芳田小学校校長を歴任されました。その時々々の想いを伺いました。

### 小学校教諭職時代

時代は高度経済成長期70年代。世の中には『モーレツ』という言葉が闊歩していたころ、子どもたちと遊ぶことで教師と生徒ではなく人間としての関係性を築くことを目指していた。それは、高校・大学と柔道に明け暮れた日々から学んだ、「ボディートークによるお互いを知る」ということに

他ならなかった。そのころ地域のソフトボール少年団の指導にもあたり、地域の成人の方々とのコミュニケーションを深めていた。これが私にとっての「学校運営協議会」の原点かもしれない。そこで知己を得た方々に小学校での出前授業をしていただいたことも懐かしい思い出である。

特に想い出深いことは、昭和50年の秋、秋の遠足で校内には6年生しかいなかった日。こっそりと「校舎内マラソン大会」を開催した。日頃は「廊下を走るな！」と指導していたことは真反対の「廊下を走れ！」なので、6年生は驚いた。その後数十年経って当時の同窓会が行われたとき、彼らからその思い出話を聞かされた時は、自身でも感じ入った瞬間であった。

### 市教委・県教委職時代

現場から180度環境の違う職務。それまではメモをする習慣など全くなかったのだが、事務処理を正確にこなすためには、間違いは許されない。俗にいう「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」ではあるが、一度二度は許されても三度目はない！ということを経験に銘じた時代であった。教職員としての資質条件とは何かを模索する日々が続いた。結果たどり着いたキーワードは、「1.一人一人の人格を大切にできるか 2.心身ともに健全である 3.子どもへの教育の使命感 4.柔軟性と対応力 5.元々の引き出しが多いのではなく、引き出しを変化に応じて数多く作れる」ということに到達した。柔道に例えるならば「型をつくる…自ら型を崩す…新しい型をつくる」ことをし続けることが、人間の成長を促すことと信じている。

### 校長職時代

特に力を注いだのは、学校のある場所の地域住民の方々や保護者の方々と交流を目指した。当時は地域ごとに集団登校をしていたので、毎朝それぞれの集合場所に通り子どもたちと一緒に登校していた。朝からの子ども

たちの様子や保護者との立ち話を通して、今学校に必要なことを知ることができる…と信じて活動してきた自負がある。

### 伝えたいこと…『磨磚成鏡』

世の中が「勝者主義・成果主義・結果主義」の側面があることは否めない。しかし、自分自身が柔道を続けてきて想い・考え・実践してきたことに、抽象的ではあるが『柔道団体戦には引き分けがある！』という事実。結果が全てということは最終判断だけがその成否を決めるが、『引き分け』…勝ちがしなかったが、負けてはいない、という概念。成否はその過程にのみ存在するというのである。

中国禅僧 南嶽懷讓禪師の逸話に『磨磚成鏡（ませんせいきょう）』という話がある。2人の禅僧の問答で、一心不乱に座禅に取り組み僧になぜ座禅をするのか？と問うた。その答えは、「座禅をすることで仏になるため」と答える。すると、…『磚（セン：瓦）』を『磨』いて『鏡』と『成』す…と諭した。

この話は、坐禅すれば仏になれる、という考えではなく、大切なのは私たちの心そのものが仏に他ならないことを諭したという説話である。すなわち、結果が大切なのは普遍の事実であるが、そこに至る不断のがんばりや研鑽こそ本質があるのであって、そこをしっかりと見誤らず評価しなければいけない。自らも日々の修練に努めたいと思っている。

これまでの縁深き皆様のおかげで、身に余る栄誉をいただくことができたので、これからも誠実に社会活動をしていきたいと思っている。



高柳さんは優しいまなざしでお話し下さいました。退職して10年、当時よりは地域と密接に関係を深める必要のある、岡輝中学校区学校運営協議会の会長として、先頭を切ってご活躍されておられます。この度の叙勲おめでとうございました。

取材・写真：  
ちくたく編集委員 三村康彦

## 岡南小学校 輝け☆岡南POWER



今年度の岡南小学校の児童会スローガン「輝け☆岡南POWER」。これは、子どもたちが新型コロナウイルス感染防止のため、なかなか集会活動が行えない時だからこそ、岡南小のみんなのエネルギーを集めて「さくらっち」（岡南小マスコットキャラクター）の笑顔のように輝かせようと考えたものです。

放送による「1年生を迎える会」、朝掃除、あいさつ運動など様々な活動でみんなのパワーを集めて輝かせてくれました。

8月23日（日）には、岡南学区みなさんのパワーを集めての「サマーグリーン作戦」が行われました。新型コロナウイルスの感染拡大で暗いニュースばかりの日常を学区のみなさんの力で明るく爽やかな笑顔に変えてくださいました。気持ちよく新学期が迎えられます。

2学期も「輝け☆岡南POWER」で新型コロナウイルスに負けぬように頑張ります。



## 岡南認定こども園 セミ捕りに行ったよ！

毎年、旭西排水センターの敷地内でセミ捕りをさせていただいています。

子どもたちは「たくさん捕れるかな？」「高いところにいたら、ジャンプして捕まえようね。」と友達と一緒にセミ捕りに行くことを楽しみにしていました。センターには、たくさんのセミがいました。セミに気付かれないよう、そっと近付いて捕まえたり、もう少しのところまで逃げられることもあったりしながら、それぞれが楽しんで過ごしました。捕まえたセミは、かごの中にずっと入れておくと死んでしまうかもしれないねと皆で話し、「また遊ぼうね。」とセミに伝え、園の木に逃がしてあげました。

保護者の方からは、「普段できない貴重な体験ができてよかったです。」という声が聞かれていました。



## 清輝保育園 楽しかったね夏まつり



毎年、地域の方に手伝っていただきながら楽しんでいる夏まつりですが、今年は新型コロナウイルス予防のため、園内のみで行いました。5歳児が中心となりクラスで話し合って準備をすすめて、当日はハッピーを着てお店の係もしました。小さいクラスの子どもも「おいしそう！」と思わず口に入れてしまいそうになるほど大喜びでした。

密を避けるためできるだけ一か所に集まらないように時間差をつけたことで、一人一人がゆっくと遊びを選ぶことができ、思い出に残る夏まつりになりました。

# ハートふれんず

## 岡輝中学校区 サマーグリーン作戦実施

**清輝保** 8月23日(日)に岡輝学区のサマーグリーン作戦に、年長の息子と参加しました。子どもたちの送迎時に駐車場として使用している園庭横の草取りをしました。朝7時からとはいえ暑く、汗を流しながら、黙々と草取りをしました。



終了後、つめたく冷えたジュースをいただきながら、参加した方々と話が出来て、周りも心もスッキリした気持ちになりました。

後から、当園を卒園した子どもたちも参加していたと聞き、私たちも積極的にこの様な活動に参加していきたいと思いました。

取材・写真：清輝保育園 保護者会役員 谷中瑠美子

**岡南小** 猛暑続きのせいで固くなった土に根強く生えた草……。

なかなかすなりとはいかない中、岡南小学校ではみなさんひとり一人、受け持った場所の草むしりに専念してくださっていました。

今年はマスクを着用しての作業でしたので、時折、滴り落ちる汗をタオルで拭きながら、多くの汗を流したサマーグリーンでした。

暑い中でのサマーグリーンでしたが、児童、保護者、そして地域の方々や、先生方、合わせて約160名もの参加があり、草むしりを終えた後はジュースをいただきました。

取材・写真：岡輝中PTA保体副委員長 景山 心・道前真依



### 岡輝中

新型コロナウイルスの影響で自粛ムードの中、開催が危ぶまれていた今年のサマーグリーン。毎年恒例のかき氷は行われない中でも校内をキレイにしようと早朝から集まってくれたのは岡輝中運動部、文化活動部の生徒さん、保護者、先生方合わせて100数名！

この日も朝からかなり気温が高く、連日の暑さ続きでグラウンドの土はカラカラ、草は伸び放題、運動部の生徒さん、保護者、先生を中心に汗を沢山かきながら、草むしりに奮闘。

草が生えていた場所のビフォーアフターは気持ち良くスッキリした仕上がりになりました。そして、外とはまた違い、風もなく蒸し暑い校内の床と階段の掃除をしてくれたのは文化活動部の生徒さん。私語もなく、集中してゴソゴソと汚れに向き合う姿は素敵でした。

始まる前は眠そうに集まったみんなの顔が終わったあとには一汗かいて、とても良い顔が並んでいました。門田校長先生が終わりの挨拶で話されていた「掃除をすることはただその場所を綺麗にするだけではなく心の整頓になる」ということ。

その言葉の通り、学校だけでなく、心も爽やかになったことを体感できた夏の朝でした。

取材・写真：岡輝中PTA広報委員長 山本美紀



### 清輝小

今年のサマーグリーンはかき氷がないということで参加者の減少が懸念されていましたが、事前の参加者の申し込み制にしたおかげか、児童、保護者、地域の方、ミニバス、教員合わせて86名の参加がありました。

清輝は運動場、南運動場、児童センターと学年で振り分けられ、みんなで草抜きをしました。暑くても、途中で集中力の切れる子どもたちも、地域の人や保護者の声掛けで最後まで頑張っていました。そのおかげで運動場も綺麗になり、新学期が気持ちよく始められそうです。

取材・写真：清輝小PTA副会長 川ノ上知美



## 富田保 夏野菜を収穫しました！

富田保育園 園長 本屋亮一

富田保育園で野菜作りをしました。

今は保育園・こども園・幼稚園で、食育の一環として野菜を作られているかと思います。

数年前から運動場で野菜作りをしています。昨年はトマト・トウモロコシが全てカラスに食べられてしまい子どもたちが寂しがっていたので今年はカラス対策をしたら7月中旬に甘いトウモロコシと美味しいトマトが収穫できました！

カラスは目標物の手前に降り前に進む為(トウモロコシ等30cm程度の間隔にピンポイントで着地ができない又、羽に何か当たる事を非常に嫌がる生き物です)、野菜の周りに杭を打ち紐(テグス等)で囲ってやるだけで保育園は成功しました。

いつも収穫した野菜は給食の先生に渡して調理してもらいます。形は悪くても味は最高でした！

ご家庭でもプランター等で簡単にできる野菜もあるので親子で一緒に作ってみるもの、いいふれあいになると思います。





## 岡南小 岡輝中・岡南小吹奏楽部のコラボレーション

新型コロナウイルス対応のため、これまで吹奏楽部が出演してきた1学期の数々の行事が中止されました。夏休み中も目指していたサマーフェスティバルが中止となり目標を見失っていたのですが、岡輝中学校の吹奏楽部が応援にやってきてくれました。密を避けパート練習で教えてもらいながら、音楽の楽しさ、楽器が吹けることの喜びを味わいました。

合同練習の最後に初見の曲「ダイヤモンド」をコラボレーションしました。暑さを吹き飛ばすようなすばらしい演奏をした子どもたちの顔は、ダイヤモンド以上に輝いていました。



## 富田保 田植えをしました

岡輝中学校区の一番南にある富田保育園です。

6月29日(月)に保育園近くにある田んぼで年中児・年長児と一緒に「田植え」を行いました。初めて田んぼに入る年中児は「先生歩けない(泣)」「なんか水なのにあったかいな」と言いながら田んぼに入り田植えを頑張りました。

“(子)先生、これでいいん?”“(職)上手に植えれとるよ”と言いながら田植えをしていました。

秋には立派なお米ができるのを今から楽しみにしている子どもたち!鎌を使って収穫をし出されたお米で“おにぎりパーティー”をします。

岡山市内も田んぼが少なくなり、このような農業体験をする機会が減ってきましたが先代が子どもたちの為に残してくれた田んぼで、これからも農業体験をさせたいと思っています。

今年度は、コロナ禍により各団体のイベントが中止・延期になり、学校等でも密を避け様々な対応に苦慮されているかと存じます。

そのような大変な中でも我々が子どもたちに少しでも行事や思い出を作っておける事が大切だと感じます。

富田保育園 園長 本屋亮一



市立小中高1ヵ月ぶり再開

学校、保護者不安も

山陽新聞の記事の抜粋。市立小中高が1ヵ月ぶり再開されたことについて、学校と保護者の不安が報じられている。記事には、再開されたものの、感染防止対策が厳格に行われていることや、保護者の不安が軽減されていることなどが述べられている。

## 山陽新聞から取材を受けました!

新型コロナウイルス感染防止のための臨時休校から再開した時のことが山陽新聞に掲載されました。子どもたちの喜びの言葉や、感染対策の様子が載っています。

(山陽新聞より転載)

久々の登校うれしい

山陽新聞の記事の抜粋。久々の登校が子どもたちにとってうれしいこと、また、学校再開に伴う感染防止対策が厳格に行われていることなどが報じられている。

## PTA会長新任のご挨拶



### 清輝小学校 PTA会長 芥田健作

令和2年の新学期から清輝小学校PTA会長に就任いたしました芥田と申します。新学期を迎えたと言っても、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により例年行われる入学式やまたPTA総会などが、平素と同じように行われず式典の規模が

縮小されたり、総会などは「書面のみでの承認」となったりするなど、今までに無い様式で行われております。

メディアにおいて「新しい生活様式」という言葉が独り歩きしておりますが、暫くの間は、今までと同じようなやり方と言うのは難しく、柔軟な考えを持って対応せざるを得ないと思っております。

とにかくPTAの活動においては「今出来ること」を円滑に進めてまいりたいと思っております。小学生の子を持つ親としては、子供たちに不

便な思いをさせて申し訳ないという思いがありますが、一人一人が三密を意識し、熱中症に注意を払いつつもマスク着用など感染拡大防止を意識して生活することが終息への一歩だと思います。只々一日も早い終息を心から願っております。

地域においては、私自身結婚を機に岡山で暮らして12年が過ぎました。「朝のあいさつ運動」「交通安全対策」「学校との連携」など地域の活動が学区内で活発に行われている様子がとても印象に残っており、今まで尽力された方々の積み重ねが現れているものと思っております。バトンをつないでいただいた皆さんへ感謝の意に耐えません。

地域や学校をより良いものとするには、まず保護者や子供たちが学校行事・地域行事へ参加し、顔の見える関係を構築することでより良い地域を作ることが出来ると思います。

地域に暮らす子供たちのために、この役割を担うことが出来ればと思っています。

しかし右も左もわかっておりませんので、諸先輩方のご指導を仰ぎつつ力を尽くしてまいりたいと思っております。宜しくお願いいたします。

年度は、出来ることを、可能な方法を探りながらの活動をしていくこととなりますが、最善を尽くして参りたいと思っております。

また、PTAの役員の皆さんも近年、お仕事をされながら引き受けて下さる方も多く、今後のPTA活動の在り方を見直していく時期でもあるのではないかと考えております。あまり表立ったPTA活動が出来ないこの時期に、今までの歴代PTA役員の方々が残してくれたものを継承しつつ、保護者の皆様が参加しやすいPTAを作っていければと思っています。子どもたちの未来のために、皆様と協力して安心、安全な岡南区を守り続けていくとともに、子どもにとっても、保護者にとっても楽しく過ごせる小学校生活を目指していきたいと思っております。

ご指導のほどよろしく申し上げます。



### 岡南小学校 PTA会長 副島 梢

今年度から、岡南小学校のPTA会長を務めさせていただくことになりました。前任の岡本会長のもと、2年間、副会長としてPTA活動、学校の行事に参加させていただき、学校や地域の方との関わり方などをいろいろと経験して参りました。

今年度は3月からの新型コロナウイルス感染症の影響により、例年のようなPTA活動のスタートとはならず、1学期の活動はほぼ白紙に終わり、やっと2学期から少しずつ動き始めてきたところです。しかしながら、予定していたことを中止にせざるを得ないものもあり、何もかもが予測しづらい中での活動となっております。今

# 今、行政が注目！ 社会が注目！

## シニアスクールはこんな所だよ！

◆シニアスクールで介護予防——心身ともに健康で美しく生きよう

- 学校の空き教室を借り、学校と同じように時間割にそって8教科の勉強をします。
- 元小中高大学等の先生が、テストなし、宿題なし、指名なしで楽しい授業をします。
- 子どもと同じ給食を食べます。
- 4月に始まり、子どもたちと同じように入学式、夏休み、運動会、学習発表会、遠足、修了式などもあります。
- 三世代同居の雰囲気の中で学校生活を送っています。
- 友だちをつくりたい、規則正しい生活をしたい、学びたいなどの思いを充足することで、認知症の予防には最適な場所になっています。



子どもとの交流授業



授業中



3教室交流



事務局



文化発表会



懇親会

# 岡輝学区の自慢 シニアスクール

いつでも入学できます  
**生徒募集中！！**

平成15年9月、新しい学校の在り様を求め全国初のシニアスクールを岡輝中学校で試行開校しました。以来18年を迎え、多くの人に支えていただきながら、3校で約50名のシニアの方々が学びあっています。「生きることとは学ぶことである」という生き方、そして各校においては児童生徒との繋がりを通して、穏やかな学習環境を作っています。3教室ともそれぞれ特色がありますので、お問い合わせの上、ご入学ください。

### シニアスクール開校場所

- 岡輝教室** … 岡山市北区岡町 12-17 岡山市立岡輝中学校内
- 清輝教室** … 岡山市北区新道 1 岡山市立清輝小学校内
- 岡南教室** … 岡山市北区岡南町 2-4-5 岡山市立岡南小学校内

### 授業について

- 岡輝教室** … 週3日【月・水・金】 ●**清輝教室** … 週2日【火・金】
- 岡南教室** … 週1日【金】
- 授業時間** … 原則として1日5時限【午前中4時限(2・3教科) 午後1時限】
- 履修科目** … 国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・英語
- 子どもと同じ給食あり(実費)
- 子どもたちとの交流を目的としたもの … 交流会・文化祭・運動会・総合学習
- 3教室の交流を目的とした遠足等の実施

### 講師について

- 各教科4~5名 現在40名の優秀な講師陣

### 必要経費(給食費・遠足費別)

- 授業料** … 岡輝教室(月4,500円 11ヶ月分割払い)  
清輝教室(月3,500円 11ヶ月分割払い)  
岡南教室(月2,500円 11ヶ月分割払い)



山陽新聞2013年2月9日号掲載

### シニアとは…

シニアスクールにおける「シニア」とは、年長者、人生経験者という意味です。学ぶ気持ちと、活動する意欲を持っている方を募集しています。

お申し込み用紙はお近くの公民館にあります。



特定非営利活動(NPO)法人 **子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクール**

〒700-0867 岡山市北区岡町12-17 [岡山市立岡輝中学校内]  
TEL.086-232-0056(事務局) FAX.086-224-0359(岡輝中)